



- 環境経営推進体制
(海外工場での環境保全会議の実施)
- 環境教育と啓発
- 環境監査
- 生物多様性の保全
- 環境会計2008年度の結果と分析

[環境とムラタ]

環境マネジメント

ムラタは国内グループおよび海外の生産拠点でISO14001の認証を取得しています。

これを運用し、マネジメント体制の整備、環境監査、環境教育の実施などによって環境経営を推進します。

環境経営推進体制

設計段階から環境負荷を低減する体制づくり

ムラタでは環境担当役員がグループ全体の環境活動の統括責任者となり、環境管理部が、事業所を横断して環境活動を支援・推進しています。また、社長の諮問機関である環境委員会は、各拠点の取り組み状況や、全社の環境課題について議論・検討しています。有害物質の排出を出口で抑える「エンド・オブ・パイプ」の対策だけでなく、設計段階から抜本的に負荷を低減するために、2007年度からは

環境委員会に事業本部メンバーを加え、原材料や工法などの面でも環境対策を強化する体制としました。2008年度は、CO₂排出削減を強力に進めるため、環境委員会から温暖化防止のテーマを切り離し、新たに「温暖化防止特別委員会」を設置しました。設計・開発・製造でのCO₂排出削減の取り組みを加速していきます。

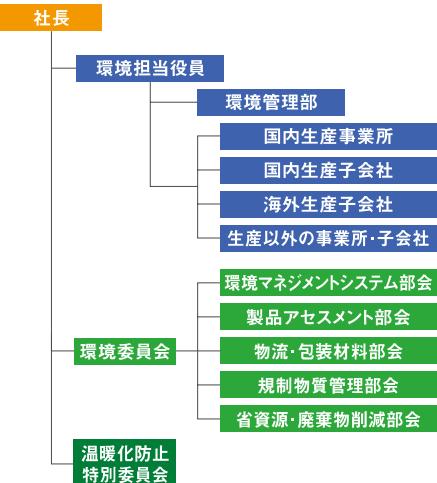
ISO14001認証取得

グローバルマルチサイトに向けて

ムラタは、2006年度までに国内外すべての生産拠点、および国内の非生産拠点である村田製作所本社・東京支社・営業所において、ISO14001認証取得を完了しました。以降、システム統合への取り組みを進め、2007年3月に国内グループ34拠点でISO14001のマルチサイト認証への切り替えを完了しました。これによって、設計・開発から

生産、販売まで一貫した環境マネジメントを実践とともに、一部の拠点で実践した顕著な改善事例を他拠点へ応用展開するなど、グループ全体での環境パフォーマンスの向上を図っています。2007年度からは、海外生産拠点においてもマルチサイト統合に向けた取り組みに着手し、2008年度は、中国の無錫村田電子有限公司

■ 環境経営推進体制



をマルチサイト認証の範囲に加えました。2009年度は、深圳村田科技有限公司が加わります。また、国内においても販売会社であるムラタエレクトロニクスを範囲に加える予定です。国内外のムラタグループが統一した考え方で、効果的で効率的な環境マネジメントの実践を目指します。

環境コストマネジメント

海外にも展開を計画

ムラタは2003年度に環境会計の考え方を導入した環境コストマネジメントの仕組みを構築しました。これによって、国内グループにおいて、環境活動にどの程度の費用を要し、どれだけの効果が得られたのかを把握し、さらに効果的な環境負荷低減活動へつなげています。2007年度に、環境コストの算出方法を見直し、

拠点ごとに実績をシステムに入力していた従来方式を改め、本社の管理会計システムから直接関連情報を取り込む方式として、精度の向上と作業の簡素化を図りました。2009年度からは、海外生産拠点へも展開していきます。

